ふじえだ 市議会だより

題字：岡部中学校　3年　小林（こばやし） 佳凜（かりん）さん

早春（青葉町）　撮影：久保田　政司さん

Vol. 221
令和４年２月５日

発行：藤枝市議会　　編集：市議会広報広聴委員会　TEL 054-643-3552　FAX 054-646-2030
藤枝市岡出山1-11-1　https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/　市ホームページよりお入りください

令和４年度予算編成に向けて、議会から市へ提言

市の主要事業等について、３つの常任委員会が、成果や課題の整理、施策の評価を行い、それぞれの視点で考えた提言を「提言書」として市長へ提出しました。

総務文教委員会

1. 観光施策について
2. デジタル行政について
3. 小中学校のICT支援員の増員について

健康福祉委員会

1. 新型コロナウイルスへの対応について
2. 予防医療と健康増進への取組について
3. 高齢者・介護支援の充実について

建設経済環境委員会

1. ウィズコロナ・アフターコロナの地域経済対策について
2. 中山間地域の移住定住対策について
3. 市内の交通渋滞解消のために
4. 気候変動による豪雨、頻発する土砂災害への備えについて

提言書は市議会ホームページに
掲載していますので、ご覧ください。

国際ソロプチミスト藤枝との「議会タウンミーティング」を開催

市議会では、開かれた議会の実現に向け、市民の意見を市議会の活動に反映させるため、「議会タウンミーティング」を開催しています。例年は各地区交流センターを中心に開催していますが、昨年度は新型コロナウイルスの感染拡大により中止となりました。本年度は、11月22日（月）に広報広聴委員が市内で活動する「国際ソロプチミスト藤枝」と「女性が輝くまちづくり」をテーマに意見を交わしました。「国際ソロプチミスト藤枝」の幅広い分野での活躍や団体の根本的思想をお聞きできたこと、藤枝市が力を入れている「女性活躍推進」についての意見交換もでき、有意義な機会となりました。いただいた意見は、今後、市政への提言などに取り入れていきます。

議会改革特別委員会　報告

コロナ禍及び災害時にオンラインによる委員会の開催が可能になりました

新型コロナウイルス感染症等のまん延防止や、大規模な災害等の発生により、委員会の開催場所への参集が困難な場合にオンラインにより委員会を開催できるように条例等を整備しました。

改正した条例・規則
（11月定例月議会　発議案　第41号・第42号）

(1) 藤枝市議会委員会条例

(2) 藤枝市議会会議規則

11月定例月議会の最終日（12月16日）に議決し、同日施行しました。

そうだ、投票に行こう！

選挙について各世代の市民の声を取材しました。

10代 数原（すはら） 裕大（ゆうた）さん

間接的ですが自分も政治に参加出来ると思い選挙に参加しています。また、今後の望みとして環境問題に力を入れて欲しいです。

20代 青島（あおしま） 夕那（ゆうな）さん

選挙は自分が行かなくても影響はないだろうと優先順位が低いですが、市議選は知り合いや話をした事がある人が候補者だと行ってみようと思います。

30代 山本（やまもと） 剛（ごう）さん

行政へ市民の関心をしっかりと届けて欲しい。私は、子供たちの未来をしっかりと見据え、私たち世代の主張をもっと反映してもらいたいので選挙に行きます。

40代 杉山（すぎやま） 里利（さとり）さん

少しでも住みやすい社会になって欲しいなと思い選挙に行きます!!
これから未来を切り開く子供たちのお手本にもなりますし。

藤枝市選挙管理委員会より　お知らせします

令和４年４月30日任期満了に伴い、

藤枝市議会議員選挙が行われます。

■ 選挙期日の告示／４月10日㈰

■ 選　挙　期　日／４月17日㈰

問い合わせ　藤枝市選挙管理委員会事務局　電話：643-3818　FAX：643-3604

11月定例月議会で審議された議案

◆全議員が認めた議案◆

議案番号	議案名
第63号議案	令和３年度藤枝市一般会計補正予算（第５号）
第64号議案	藤枝市税条例の一部を改正する条例
第65号議案	藤枝市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
第66号議案	藤枝市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
第67号議案	藤枝市勤労者福祉センター条例の一部を改正する条例
第68号議案	藤枝市手数料徴収条例の一部を改正する条例
第69号議案	藤枝市岡部玉露の里の指定管理者の指定について
第70号議案	藤枝総合運動公園の指定管理者の指定について
第71号議案	藤枝市民グラウンド・藤枝市民テニス場の指定管理者の指定について
第72号議案	藤枝市民体育館・藤枝市武道館の指定管理者の指定について
第73号議案	大久保グラススキー場・大久保キャンプ場の指定管理者の指定について
第74号議案	藤枝市福祉センターきすみれの指定管理者の指定について
第75号議案	養護老人ホーム藤枝市立円月荘の指定管理者の指定について
第76号議案	藤枝市老人福祉センター藤美園の指定管理者の指定について
第77号議案	いきいきサロン藤の里の指定管理者の指定について
第78号議案	藤枝市産学官連携推進センターの指定管理者の指定について
第79号議案	市有財産（土地）の処分について（高田）の変更について
第80号議案	志太広域事務組合規約の変更について
第81号議案	志太広域事務組合規約の変更に伴う財産処分について
第82号議案	令和３年度藤枝市一般会計補正予算（第６号）
第83号議案	令和３年度藤枝市一般会計補正予算（第７号）
諮問第６号	人権擁護委員候補者の推薦について
発議案第41号	藤枝市議会委員会条例の一部を改正する条例
発議案第42号	藤枝市議会会議規則の一部を改正する規則
発議案第43号	予算特別委員会の設置について

人　事　案　件

次の人事案件について、本議会は、適当と認めました。

◆諮問第６号　人権擁護委員　　萩原　一郎さん（岡部町内谷）

可決された議員発議

11月定例月議会において、議員提出による発議案３件が上程され、原案のとおり可決されましたのでお知らせします。

概　略

◆発議案第41号
藤枝市議会委員会条例の一部を改正する条例

◆発議案第42号
藤枝市議会会議規則の一部を改正する規則

◆発議案第43号
予算特別委員会の設置について

常任委員会審査レポート

ピックアップ！

総務文教委員会

本会議可決

第69号議案
藤枝市岡部玉露の里の指定管理者の指定について

現在、この施設の指定管理者となっている㈱静鉄リテイリングを、令和４年４月１日から５年間、引き続き指定管理者として指定するもの。

今後も市と協力して、地域との連携強化や子供や若者への茶文化体験の提供と発信を行い、コロナ禍で落ち込んだ集客の促進にも力を入れていく予定であるとのことやこれまでの実績等も考慮し、委員会として可決すべきものと決定しました。

健康福祉委員会

本会議可決

第77号議案
いきいきサロン藤の里の指定管理者の指定について

現在、この施設の指定管理者となっている社会福祉法人藤枝市社会福祉協議会を、令和４年４月１日から５年間、引き続き指定管理者として指定するもの。

コロナウイルス対策として、ソーシャルディスタンスを意識した運営を行うなど、利用者が安全安心に通うための工夫を凝らしている様子を現地審査で確認しました。

また、委員会においては、利用者の健康維持、介護予防へつなげていく目的を果たすため、定期的なモニタリング調査や、現地へ足を運ぶなど、市も指定管理者とともにサービス向上に努めていくことを確認し、委員会として可決すべきものと決定しました。

建設経済環境委員会

本会議可決

第78号議案
藤枝市産学官連携推進センターの指定管理者の指定について

企業や大学、行政が連携し、活動・交流の拠点を設置することにより、地元産業などの活性化を図り、新たな産業や事業の創出を期待している。また、地域を担う人材を育成することも目的としているという説明を受けました。

静岡産業大学藤枝駅前キャンパス（Bivi藤枝1階）との一体的な利用促進による地域社会の形成や地産地消、食育の推進等を発信する拠点として運営が可能な指定管理者ということを確認し、委員会として可決すべきものと決定しました。

市民クラブ

鈴木　岳幸 議員

国際交流について

問 **来年度は海外の友好都市と、お互いに行き来する交流はできるか。**

答 新型コロナの状況次第になるが、ペンリス市との絆を深めるために、市内の大学生がホームステイする語学留学体験事業や、意欲のある若手職員を、ペンリス市の職員と長期でお互いに派遣しあう相互研修を行っていく。

問 **東京オリンピックではイタリアとつながりが出来たが、イタリアの地方都市と友好都市提携を進めることはできるか。**

答 イタリアの格闘技連盟や、ライフル射撃連合とスポーツを通じて交流してきたが、まずは市民のスポーツ交流などをしながらイタリア国内の特定の都市との友好提携の可能性も含めて交流の在り方を検討していく。

問 **アメリカなど他の国の都市との友好交流はできるか。**

答 国際友好協会を通じてアメリカのライス大学などとは交流を進めていて、今後は大学連携も考えているので、様々な友好交流の可能性について研究していく。

国際交流で友好を深めよう！

藤　新　会

薮﨑　幸裕 議員

小・中学校に於けるイジメ対策

問 **小・中学校のイジメの実態は。**

答 低学年の些細なトラブルも含め、イジメ認知数は増えているが、アンケート調査では「誹謗中傷等をされたことがある」との回答数は減少している。

問 **イジメの早期発見は。**

答 特別支援教育支援員や学校生活支援員を全ての学校に複数配置している。各学校独自でアンケートを実施し、SNSに対するネットパトロールも実施している。

問 **イジメをしない子供の育成は。**

答 上級生が下級生の面倒を見る「ピア・サポート活動」やスクールロイヤーを活用した事業を実施して思いやり溢れる子供の育成に努めている。

働き方改革と職員定年延長

問 **働き方改革の進め方は。**

答 ワーク・ライフ・バランスの実現、業務のデジタル化を進め事務負担の軽減に努め、働き方改革を進めている。

問 **定年延長は６５歳となるのか。**

答 現在60歳の定年を令和５年度から２年ごとに１歳ずつ、65歳まで段階的に定年を引き上げる予定である。

市民クラブ
八木　勝　議員

本市の企業誘致と立地の今後について

問 **第３次藤枝市企業立地推進ビジョンがスタートしたが、現時点での問題・課題について伺う。**

答 半導体不足や燃料の高騰などの影響は先行き不透明な状況ではあるが、潜在的なものも含め、本市への引合いは依然として強い。このため、新たな工業用地を早期に確保する必要がある。短期的には、市内の工業系用途地域内に存在する低・未利用地の有効活用を促進する。

問 **工業集積地区である築地地区、特にはシーガルドーム西側の、今後開発の可能性について伺う。**

企業誘致の現状

答 現在、市内の工業系用途地域内には、様々な企業の条件に合う低・未利用地がほとんどない状況。このため、新たな産業用地の確保に向け、市街化調整区域内にある市の土地利用構想に位置付けた工業用地を中心に、土地利用に関係する法令等を踏まえ、検討を進めているところ。こうした中、築地地区に関しては、市街化調整区域であり、農地法・農振法により、開発が厳しく制限されているが、中長期的に産業誘致を推進すべき地区としており、志太中央幹線の整備など、今後の状況変化をとらえた上で、開発の可能性を検討していく。

藤新会
山根　一　議員

「令和4年度予算、4K施策」について

問 **令和４年度予算の概要及び目玉となる戦略的な施策について伺う。**

答 市政経営においては、ウィズコロナを前提としながら、アフターコロナを見据えた戦略的な取組を両輪で進めていく必要がある。本市が先導的に進める「デジタル」や「グリーン」、「４Ｋ」等の強みを活かした「将来の基盤づくり」を柱とした来年度の戦略方針を打ち立て、これに沿って当初予算編成作業を進めている。コロナ禍による影響が長期化する中で市税等自主財源の確保は大変厳しい状況が見込まれるが、国・県などの財源を積極的に確保し、大胆かつ繊細な予算編成に努める。そして、進展するデジタル社会の中で市民の皆様の交流やまちづくりの拠点としても機能する、次世代型新庁舎の整備構想の検討にも着手していく。

問 **次世代型新庁舎はおよそ何年後を目指すか。**

答 現在の庁舎は既に４８年経過していて、来年度から検討し、近い将来の完成を目指す。

問 **快適で安心して学習できる環境整備について。**

答 人権教育や情報モラル教育の充実に向けて、スクールロイヤーを有効に活用し、いじめの早期解決や各種トラブルの未然防止や対応を強化するほか、新たに特別教室のエアコン設置やトイレ洋式化を継続して行う。

問 **体育館のトイレ洋式化については如何か。**

答 洋式トイレの未設置の内、西益津小学校及び葉梨中学校の２校については年度末の春休みから改修を行い、順次建造の古い順から取り掛かっていきたい。

高齢の情報難民者をどう救い、安心を与えるのか

問 **デジタル推進社会に於いて、行政の情報を得る場合【ホームページをご覧ください・ＱＲコードを読み取ってください】であり、高齢者支援の充実を図るべきで、具体的な支援をどのように行うのか。**

答 各地区交流センターでデジタル支援員による週１回の相談を行い、スマートフォンの利用方法や『ＬＩＮＥ』などの活用が出来るように支援している。場合によっては２，３人でも要望（要請）が有れば町内集会所（公会堂）に出向きデジタル講座としてスマートフォンの活用等きめ細かな支援を行う。

日本共産党
石井　通春 議員

住民利益にかなった私道舗装制度を

今年度舗装される道路
（高柳地区）

問 **市内152か所の未舗装私道を公費で舗装する画期的な制度が今年度から実施されているが、居住実態のない一部の道路所有者の反対で舗装を望む道路使用者の意に沿わないケースが出ているが課題では。**

答 事前申込時に、地番の下調べを実施するなどして市民負担軽減に努める。

問 **舗装決定後、申請者が業者の見積を取得する事も経験のない市民にはハードルが高い。**

答 受注業者と打合せ等を行っていく。

コロナで中核を担った公立病院の立場で

問 **市立総合病院は志太医療圏（藤枝、焼津、島田、榛原）で唯一、中等症・重症患者を受入れてきた。別棟の救命救急棟をコロナ病棟としたが、一般病棟受入れであれば昨年度の黒字決算は達成したか。**

答 その場合、約2億9千万円の赤字であった。

問 **コロナ禍で公立病院の重要性が広く認識されたが、自公政権は2025年までに急性期病床を更に20万床削減する計画（地域医療構想）を掲げたままである。コロナ以前に始まった計画だが、コロナを教訓とし撤回、やめさせるべきではないか。**

答 改めて検討する必要がある。人口減少社会に適応しながら安心な医療を提供できるよう、機能分担や病床調整を図っていくべきである。

問 **人口減や機能分担を口実に病床削減を迫るのが地域医療構想だ。市立総合病院は県に病床数を記載した報告を出しているが、現在の564床を維持するか。**

答 564床を維持する報告を今後も出す。

問 **菅前内閣に至っては、病床を削減した病院に補助金を支給する制度を法定化、財源は消費税増税分だ。福祉の為の消費税を福祉削減の為に使う、国民を二重に馬鹿にしている。こうした誘導で削減をする病院もあるが、市立総合病院はのるべきではない。**

答 この制度に基づく削減を実施する予定はない。

問 **岸田内閣が打ち出した全国コロナ病床3割増は、医師、看護師、技師などの増員なくして達成は不可能。市立総合病院の現状から可能なのか。**

答 現在、コロナが収まっている状況で県と協議を重ねている。マンパワーの強化を図り、国・県と連携しながら安心して医療が受けられるよう努める。

公　明　党
山本　信行 議員

障がい者支援について
今後を見据えた障がい者支援!

問 **障がい者の親亡き後に備えた支援について、市としての考えを伺う。**

答 本市の重要な支援として、１．相談体制の充実、緊急時の受入対応、専門的人事の確保を構築し、社会全体で支えるサービス。２．きめ細かな受入施設の充実・機能強化。３．親亡き後の障がい者の権利擁護・成年後見人の充実など、今後もご家族の思いを受け止め、親亡き後を見据え、障がい児者やご家族が安心して暮らせるように本市として全力を挙げていく。

問 **白杖など、補装具が破損し、修理や購入までの間に補装具を貸し出すシステムについて考えを伺う。**

答 安全性を考慮すると貸し出しは難しい。

問 **障がい者の事業所や障がい者を雇用している企業など、市ホームページ等で幅広く情報提供をすることについて考えを伺う。**

答 本年３月に「就労系サービス事業所紹介Book」を自立支援協議会で作り上げた。このブックについては、既に関係する事業所に配布したが、このブックデータを活用して、できるだけ早く、市ホームページから情報発信ができるように努めていく。

藤枝市障害者支援
（藤枝市ホームページ）

藤　新　会

油井　和行 議員

家康公と健康づくりについて

【家康公と健康づくり】

問 **「薬膳料理」を基にしたイベント・講座は？**

答 現代の健康づくりには、家康の健康管理に学び、生活習慣の改善を図る必要がある。食習慣の改善に向けた「健康経営」、「薬膳」の考えを取り入れた食育推進講座の実施、栄養バランスに優れた和食文化を推進する。家康が好んだ食材や料理を一汁三菜の献立とし、「健康長寿の家康御膳」と称しレシピ公開を検討する。

シティ・プロモーションについて

【田中城・駿府城・浜松城　三城物語】

問 **徳川ゆかりの城が多くある中で田中城・駿府城・浜松城で一緒に取り組むイベント「三城物語」は如何か？**

答 「田中城御城印」を活用し、田中城・駿府城など県内の城をつなぐ御城印めぐりを各市に呼び掛ける。来年度、郷土博物館で「徳川家康と田中城」の歴史短編アニメを新たに制作し、博物館常設展で大型スクリーンで上映する。本市の歴史文化資源を活かして交流人口の拡大に努める。

問 **市内特産物や技術を活かした『三城物語限定御城印帳』を作っては？**

答 田中城のＰＲ、来訪者拡大に繋がる魅力的なグッズに関しても静岡市、浜松市との連携イベントと共に検討する。

田中城御城印

無　会　派

天野　正孝 議員

ウィズコロナでの地域経済再生について

問 **中小企業等継続支援給付金や飲食店等感染症対策促進事業奨励金の支給状況等について伺う。**

答 11月末現在、中小企業等継続支援給付金は申請887件、給付済710件、飲食店等感染症対策促進事業奨励金は、申請117件、給付済78件。

問 **飲食業・宿泊業などへの支援体制を伺う。**

答 GOTOイート食事券については、本市独自の10%上乗せ事業を再開した。県の観光促進事業「バイ・シズオカ」と連動し、市内宿泊施設利用者が施設内で地域クーポンを利用する場合、50%上乗せする事業を実施している。

問 **志太榛原圏域同一歩調で地域性を生かした支援をどのように進めていかれるか伺う。**

答 圏域全体でDXを推進して、あらゆる産業において新たなデジタル技術を活用し、企業価値を高めていく必要性を訴え、今後検討していくことを首長間で確認したところである。

新学校給食センターの整備構想の策定状況

問 **整備構想策定の進捗状況について伺う。**

答 基本構想については、12月中に業者から提案や説明を受ける。策定後は、年度内に具体的な施設整備の条件やスケジュールを示す基本計画を策定する。

問 **食物アレルギー対応マニュアルの改訂状況を伺う。**

答 昨年3月に改訂し、校内食物アレルギー対応委員会の設置やアレルギーの実態を踏まえた献立の作成を新たに加えた。

問 **新年度予算での具体的な整備計画を伺う。**

答 現在策定している基本構想及び基本計画に基づき、来年度は、基本設計及び実施設計の策定経費と令和５年度の用地買収に向けた造成、用地測量及び地質調査の予算を計上し、建設工事に向けて進めていく。

日本共産党
大石　信生 議員

深刻な環境汚染の恐れ―猛毒ヒ素・セレンの埋め立て処理について

問 **バイパス4車線化工事の潮トンネル掘削土に、基準値を超える猛毒ヒ素とセレンが含まれていることが分かった。国土交通省は、クリーンセンターの隣に、市が仮宿地区の要望する附帯施設をつくるために購入した土地に道の駅をつくり、その地下にヒ素とセレンの有害土を埋めたいと突然提案してきた。道の駅は赤字が予測され、有害物質埋立は環境汚染の恐れがあるのでは？**

答 国交省からは、国のマニュアルに基づき「要対策土」を不透水性のベントナイト混合土で包み込む処理をすると聞いている。適切と考える。

問 **7月1日「富士川の泥にヒ素」という報道があり、リニアトンネル工事から出たヒ素がブルーシートをかけただけで河川敷に積まれていると聞いて現地を見た。この写真だがズサンだ。仮宿町内会組長会に国交省が出した資料だが、ヒ素を「自然環境に広くある」とか、まるで無害と言わんばかり。岐阜県山県市では、ヒ素を含む有害土の埋め立てに反対を貫き、国交省に愛知県の工場で無害化処理をさせた。これが正しい処理で、住民に事実を伝えないのは問題だ。**

答 これから、しっかり検証していきたい。

めくれたブルーシートに覆われた有害土（富士川支流早川脇）

知られざる宝「益頭郡衙」の復元（史跡保存）について

問 **奈良・平安時代の郡役所である「志太郡衙」は、駿河台団地造成の過程で偶然見つかり、その後、復元された。じつは西益津の郡と立花地区に「益頭郡衙」跡が国道拡幅や土地改良などの過程で発見され、この調査記録6冊が郷土博物館にある。が、「益頭郡衙」の存在は市民に知られていない。全国600カ所と言われる郡衙跡がほとんど分からなくなっているとされる現在、一つの市に瀬戸川を挟んで、二つの郡衙跡が存在することは日本一の値打ちかも知れない。史跡保存・復元に、取り組むべきではないか。**

答 本市が、はるか古代から志太平野の中心だったことを示す歴史的な価値ある誇るべき宝だ。説明板など発信と周知、検討を進めていきたい。

志太創生会
遠藤久仁雄 議員

身近に起きている環境問題を解決したい
エシカルの涵養（かんよう）で、環境問題に対応

問 **犬の散歩中にフンの後始末をしない残念な飼い主を見かける。市では毎年啓発運動を行ってはいるが、新たに黄色いチョークを使って後始末を促す作戦を、市民に働きかける考えはないか伺う。**

答 蓮華寺池公園では、イエローチョーク作戦と名付けて、昨日(12/1)から始まった。これにより、チョークで警告された飼い主の行動が是正される効果が期待される。他地域については、検討していく。

問 **上伝馬地区の商店街を中心にカラスと鳩が襲来し、多大な被害をこうむっている。2年くらい前から、市への相談があったのは事実か。**

答 そのとおり、令和元年から相談を受けている。

問 **その間、市を含め行政が有効な対策が取れなかったのは、これに対処する法律や条例がなかったからではないのか。直ちに市条例を作り、問題の解決に向け努力しなければならないと考えるが如何か。**

答 現在ある「藤枝市まちをきれいにする条例」の中に、野生のカラスや鳩の事例を盛り込むか、あるいは単独で条例を制定するのがよいか、他自治体の条例等を参考にして検討する。

市街地に群がるカラスと鳩の大群

志太創生会
増田　克彦 議員

大学とのまちづくり事業について

問 大学連携事業の総括と成果について

答 大学連携事業は、市民の学び直しなど多世代の人づくり、本市の特産品の商品開発や販路拡大の経済面など、多分野の施策展開の基盤として機能している。こうした活動に関わった学生が市役所をはじめ大手企業や地元企業への新たな力として活躍している。

問 大学連携事業の今後の展望・展開について

答 幅広い世代の社会人の多様な学びのニーズに応え、また、再チャレンジを応援する場として、静岡産業大学との連携で新たに「藤枝市民大学」を創設する。この新たな学びの場で、多彩な教育メニューを提供して地域社会・地域経済を担う人材づくりを一層前進させる。

問 大学ネットワーク会議設置について

答 従来までに7大学との連携を進めてきた。次なるステージとして、各々の大学がその垣根を越えて、“地域の人材を共に育てる”という意識と場のために大学ネットワーク会議を創設した。「地域づくり」「人材づくり」を2本柱として各大学が有する強みや専門性を結集した地域課題研究や共同講座を実施し、将来の進路を考える学生に多様な気付きを与える機会となっている。

静岡産業大学との連携による「あつまれ どうぶつの森：藤枝の島」

藤　新　会
神戸　好伸 議員

狭あい道路（2項道路）

【建築基準法の適合は2項道路セットバック】

問 昭和25年に指定された「２項道路」沿いにセットバックして、住宅を新築・増築したいが・・・？

答 幅４ｍの道路に面していなければ、新築・増築は出来ません。後退（セットバック）して藤枝市にご寄付頂けるなら、「狭あい道路拡幅整備事業」の申請により、固定資産税が非課税となり分筆登記や道路として利用できる舗装工事等を進めていきます。

問 都度発生するセットバックで道路の体を成さないものは？

答 公共利用の観点から整備が必要と認める路線のうち、藤枝市へ寄付して頂いた場所については、地域の要望や状況を勘案し、ご意見を伺いながら道路改良事業により進めます。

保育士の確保

【保育士･幼稚園教諭の人材確保策について】

問 「保育士確保プラン」に沿って入学準備金・修学資金・就職資金返還免除の他、更に今国会では、介護・保育等に３％の上乗せ金も決まった。現状の問題として、保育士や幼稚園教諭の処遇が厳しく、募集しても集まらない状況が続いているが、保育士確保策はどうなのか伺う。

答 藤枝市も保育士の働きやすい職場づくりにも力を入れ、来春から独自の「Uターン就職奨励金」が設定され効果を観るところです。

セットバック後の２項道路

志太創生会
平井　登　議員

新たな局面を迎えた中山間地域の移住定住促進事業
～行政と住民等の協働体制で地域の未来づくりを～

問 **「空き家バンク」事業開始から１０年経過する中で浮かび上がった課題は何か伺う。**

答 事業開始から常に登録物件数を上回る利用希望があり、現在、物件23件に対し利用希望者は33人である。需要に対し供給不足が課題である。

問 **令和３年の２月定例月議会で「お試し移住」の提言をした。移住希望者に本市の良さを実感していただき移住定住に繋げる目的だが、検討状況を伺う。**

答 来年度、移住希望者のニーズに合わせて「日帰りコース」「短期コース」「長期コース」等の実施を計画している。空き家の活用も考えている。

問 **本市の中山間地域に移住された母親１０名で編成されている「さとやママ」は、自らの経験を活かされ移住希望者等のさまざまな相談に応じ寄り添った活動をされているが評価を伺う。**

答 これまでの献身的な活動により移住されたすべての方が中山間地域に定住していることからも「さとやママ」は、移住定住促進事業に欠くことのできない団体であると評価している。

問 **中山間地域への移住定住対策について、全庁体制または専門部署の新設等で取り組まれるよう提言しているがご見解・ご回答を伺う。**

答 広域連携課の統括の下で、関係課による「移住定住推進会議」が移住戦略を進め、各課が専門的な役割を担い施策展開をしている。来年度は、地域おこし協力隊制度を活用し「移住コンシェルジュ」を配置する。一方、持続的に移住定住の住宅環境づくりを進める必要もあるため、来年度、空き家活用や優良田園住宅制度等を一元的に推進する組織「住まい戦略課」を創設し、住宅政策と移住対策の両輪で人口対策を加速させていく。

問 **空き家・空き地等の調査や物件登録を促進するため、地域に精通し信頼される住民にその役割を委嘱すれば供給力が高まると考えるがどうか。**

答 「移住コンシェルジュ」が自治会・町内会と連携して調査や情報収集を行うことを検討している。

住民側による物件登録促進体制を提案した配布資料

藤新会
深津　寧子　議員

藤枝の循環型社会ついて

問 **プラスチックごみの河川調査の結果と今後の排出抑制やリサイクルの取組について。**

答 散乱ごみは調査事例がなく、比較はできないが少量と思われる。マイクロプラスチック浮遊量は、全国平均より7割以上少ないという結果であった。一括収集に関し国より具体策が示されていないが、近隣市の動向を注視し、分別収集及び資源化を進める。資源循環推進計画の策定に着手している。

問 **生ごみ資源化の現状と今後の取組について。**

答 現在家庭系生ごみ分別収集は2万世帯。令和7年度末から分別回収地区を拡大していく。新たな資源化のためスラリー化（生ごみをすりつぶし、泥状にする）し浄化センターへ投入、消化ガスを発生させることにより燃やすごみが減りバイオマス発電が進む。令和4年度から説明会を順次開催していく。

問 **太陽光発電以外の再生可能エネルギーの可能性は如何か。**

答 水力発電は近年技術が進捗し、水道施設にマイクロ水力発電を設置する事例が増えてきていることから、導入の可能性について検証したい。

問 **エネルギーの地域循環を促進するため、自治体が出資する新電力会社の可能性を検討しても良いのではと思うが如何か。**

答 可能性について検証を進めていきたい。

バーチャルパワープラント(VPP)イメージイラスト

藤新会
小林　和彦 議員

行政と地域（自治会）とのあり方について

問 **「持続可能な地域自治の仕組み検討委員会」の進捗状況について。**

答 少子高齢化等による地域活動の担い手不足や複雑化する地域課題への対応などで、自治会・町内会の組織や活動を継続できるか心配する声もあり、本年５月に検討委員会を設置し、市からの依頼業務に係る負担軽減策を検討している。

問 **自治会・町内会の負担軽減策について。**

答 広報ふじえだや配布物の配布方法の見直しに加え、各種委員の選考方法や提出書類の見直しなどの負担軽減策を検討している。

自治協力委員会

問 **自治協力委員会の性格と役割、権限について。**

答 自治会ごとに１人の自治協力委員を委嘱し、毎月１回自治協力委員会を開催している。任期は２年で、行政情報の市民への円滑な周知や、自治会内の苦情、要望等の聴き取りなどを職務として活動していただいており、対価として報酬を支払っている。

問 **自治協力委員会を通して依頼している業務と通さずに依頼している業務について。**

答 自治協力委員会を通した依頼事項や情報提供は、過去３年間では毎年１３０件から１５０件ほどで、通さない依頼は約５０件で、工事のお知らせなど対象地域を限定したものである。

問 **市から自治会・町内会への依頼事項に関する自治協力委員会での問題提起について。**

答 防災や防犯、交通安全、地域の環境美化活動などの市民への協力依頼のほか、各種委員の選出依頼、イベント案内などの情報提供を行っており、自治協力委員会での問題提起については、委員の意見を踏まえ、その都度、対応・改善している。

問 **自治会・町内会の役員のなり手不足の現状把握について。**

答 自治会・町内会の役員については、各組織が効率的に活動をしていく中で、各組織の判断で決定されているものと認識している。地域によっては役員の人選に苦労しているという声も聞いており、市からの依頼業務の負担が担い手不足の要因の一つであると考えられるので、負担軽減策や役員が活動しやすい環境作りに努めていく。

藤新会
山川　智己 議員

原子力災害広域避難計画の策定について

【進捗状況と目途について】

問 **広域避難計画策定の進捗状況と、具体的な目途について伺う。**

答 関係先との調整は最終段階を迎えている。具体的な策定時期を示すのは難しいが、避難先自治体から可能な限り早期に了解をいただけるよう協議し、了解を得られたのち速やかに策定する。

【計画における本市独自の項目について】

問 **広域避難計画における藤枝市独自の内容について伺う。**

答 まず、避難経由所を総合運動公園に設置し、避難者の把握と避難先を伝達する場所とする。そして、市内UPZ外の４地域にある指定避難所へ一時的に避難し、その後、事態の状況に応じ、県外へ広域避難を実施する。これら三段階方式で円滑な避難行動を促していく。

問 **新たな避難経由所を、総合運動公園に設置するとした理由は。**

答 市民が混乱なく迅速に避難するために、藤枝のランドマークといえる総合運動公園を、最初に目指すべき場所である避難経由所とした。

【今後における本市の考えについて】

問 **今後、どのような避難訓練の実施を想定しているか。**

答 県及び計画策定が完了している関係市町で実施する「静岡県原子力防災訓練」への参加を想定し、避難経由所運営訓練など、住民参加による避難訓練にて、一連の避難行動の確認と課題の抽出を行いたい。

公　明　党
大石　保幸 議員

移動に関する施策について

問　市は令和３年６月に「藤枝市地域公共交通計画」を公表した。計画では公共交通を補完する移動手段も掲載されているが、計画公表後に補完移動手段で変化も出てきていることから対応について伺う。

答　令和３年度は「地域交通課」を創設し、地域ごとの課題に対応した取組をしている。藤枝地区では予約制バス停型乗合タクシーを開設する。また、出かけっＣＡＲサービスでは対応が難しい外出支援として「ふじえだ足すと（アシスト）号」の運行に向けた準備をしている。

問　「ふじえだ足すと（アシスト）号」とは、どの様な移動支援なのか。

答　市職員が10人乗りのワンボックスカーを運転して、ドア・ツー・ドアの外出支援を行うもので市全域をカバーする。これにより市民の生活の足の確保を更に前進させていきたい。

問　運転免許証返納後の移動手段確保の観点から「電動アシスト自転車」を購入する際の補助制度を実施できないか。

答　運転免許証返納者の4人に1人が返納後の移動手段に自転車を挙げている。一方で高齢者の電動アシスト自転車での事故も多発している。しかし、市として「自転車活用の推進」の取組は進めているので、全ての年代での電動アシストを含む自転車の活用を検討していく。

市内シェアサイクルで利用されている電動アシスト自転車

市民クラブ
川島美希子 議員

充実した子育て環境づくり

問　本市の企業主導型保育園「まつの実保育園」（定員17名内、社員枠９・地域枠８）にとって令和２年に改正された自社従業員枠を１割以上に設定する制度は大変厳しい制度ではないか。今後どのようなサポートができるか伺う。

答　自社従業員の利用が無い状況が長く続いた場合には、保育園の運営には厳しい制度であると認識している。課題の共有に努め、県と連携して国や児童育成協会に提案要望していく。

問　４年連続待機児童０のその裏には、会社と真逆の保育園へ通ったり、兄弟が別々の保育園に入っているなどの事情がある。困っている家庭の状況は変えられないのか。

答　国が示す基本的事項に基づき適正に実施。相談に対応する。

問　働く家庭は時間的に市の窓口へ行くのが難しい。２４時間、メールによる相談窓口を開設し、その対象の家庭には相談を促すべきではないか。

答　保護者の通う保育園を通じ市への相談を促す対応もしていく。

企業主導型保育園

ジェンダー平等を目指す行動計画

問　男女共同参画第３次行動計画の中で見えてきた課題を伺う。

答　家事の負担が女性に集中している状況。また、本市の事業所における女性管理職の割合は１割台と低いため、リーダー的女性を増やす環境づくりが必要。

問　策定中の第４次行動計画において新規の施策など、今後の方向性を伺う。

答　性の多様性に関する理解の促進、女性活躍推進計画などを盛り込む。

問　LGBTQの相談窓口が市にないが、どのように取り組むのか伺う。

答　対面や電話など、誰もが相談できるよう、多様な相談窓口を設定していく。

議会は藤枝市議会ホームページでもご覧いただけます

藤枝市議会ホームページでは、本会議のライブ中継と録画放映を行っています。市民生活に直結した重要な問題の審議をぜひご覧ください。

【議会事務局】☎643−3552

２月定例月議会

２月定例月議会は、２月21日から３月23日までの31日間で開かれる予定です。

２月21日	本会議１日目（☆）議案上程等
３月２日	本会議２日目（☆）代表質問
３日	本会議３日目（☆）一般質問
４日	本会議４日目（☆）一般質問・議案質疑等
７日	現地審査
８日	予算特別委員会
９日	予算特別委員会
10日	予算特別委員会
11日	常任委員会
14日	予算特別委員会
15日	予算特別委員会
23日	本会議５日目・採決等（☆）

☆藤枝市議会ホームページでもご覧いただけます。

※新型コロナウイルス感染症対策のため本会議場での傍聴の人数制限を行っていますのでご了承願います。

応募写真・イラストコーナー

早春
作者：げんきむら　村松さん

椿（蓮華寺池公園）
撮影：山本　光幸さん

花火（岡部町）
撮影：池島　真美さん

もうちょっと（金比羅山）
撮影：池村　智里さん

たけ灯り（蓮華寺池公園）
撮影：寺田　清さん

藤娘と梅
作者：青島　心愛さん

新春の富士（滝沢林道）
撮影：金森　一男さん

春のおとずれ（蓮華寺池公園）
撮影：小長谷　充朗さん

表紙の写真・イラスト等募集！
テーマ「初夏」

市議会では、年４回（６月・８月・１１月・２月）「ふじえだ市議会だより」を発行しています。開かれた議会を目指し、より市民に親しまれる「ふじえだ市議会だより」にするため、表紙の写真・イラストを募集します。

●募集する写真・イラスト等

- **写真の場合**…市内で撮影された人物・四季折々の風景・まつり・学校行事・地域行事等の各種イベントの写真
- **イラストの場合**…市内在住、通勤、通学の方が作成したイラスト等

●応募方法

住所・氏名（フリガナ）・電話番号・写真の場合（撮影場所・撮影日時・タイトルを記入の上）、議会事務局へメール、もしくは郵送・持参してください。

●応募上の条件

- **写真の場合**…市内で撮影されたもの。
- **イラストの場合**…市内在住、通勤、通学の方が作成したイラスト等
- 被写体が人物の場合又は個人の所有物である場合は、必ず被写体ご本人（未成年者の場合は保護者）又は、所有者の承諾を得てください。
- 採用作品の著作権は、市議会に帰属するものとします。
- ご応募いただいた写真は原則返却いたしませんので、予めご了承ください。

●選考方法

市議会広報広聴委員会で決定します。

●応募の締め切り

６月５日号の締切

⇒令和４年３月２日㈬

※詳細については、藤枝市議会ホームページをご覧いただくか、議会事務局へお問い合わせください。

お問い合わせ

藤枝市議会事務局（市議会広報広聴委員会）
住　所：〒426-8722　藤枝市岡出山1-11-1
電　話：054-643-3552
メール：gikai@city.fujieda.shizuoka.jp

編集後記

いつも市議会だよりをご覧頂きありがとうございます。

今年度も、コロナに翻弄され、議会傍聴も制限せざるを得ず、ご不便をおかけいたしました。

市議会だよりを編集する広報広聴委員会は、議員７名で構成しておりますが、４月改選の為、残りの編集作業は２月定例月議会のみとなりました。

イラストや顔写真を多用しての市民の方の声など、これまでにない掲載に努めましたが、まだまだ多くの方に読まれている状況ではありません。

国政選挙では投票率が軒並み下落しています。市民の皆さまが議会に関心を持ってくださるよう最後まで議論してまいります。

広報広聴委員　石井通春

【編集・発行】藤枝市議会（藤枝市岡出山一丁目11番１号）
☎054-643-3552　FAX054-646-2030
E-mail　gikai@city.fujieda.shizuoka.jp
URL　https://www.city.fujieda.shizuoka.jp/